



北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州・山口地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: info@npo-kts.org URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.40

2023年冬号

新年のご挨拶

NPO法人 北九州テクノサポート 会長 影山 隆雄

初春のお慶びを申し上げます。

皆様には、日頃からNPO法人北九州テクノサポートの活動に対し、ご理解を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

昨年は、収束の見えない新型コロナウイルス感染症に加えて、ロシアによるウクライナ侵攻によって、食糧やエネルギーを中心に物価の高騰を招き世界的な情勢不安が増大しました。一方、この不安に対する切迫感が脱炭素社会に向けたグリーントランスフォーメーション(GX)とデジタルトランスフォーメーション(DX)を加速することにつながっています。九州の経済においても熊本県への最先端半導体工場建設の開始や長崎県・福岡県における洋上風力発電建設の動きは、GXとDXを通じたポストコロナ社会へ向けた大きな潮流と捉えることができます。

当法人は、北九州・山口において高度技術や豊富な人脈を有する定年退職者(OB)を地域の貴重な人財として、中小企業の支援を通じて地域振興を目指して活動しており、今年で20年目を迎えます。この中で経済産業省が2015年度に我が国の第4次産業革命元年を宣言したことを契機にOB人材のリスキリングのため

の勉強会を開始して8年目になります。この成果は、コロナ禍を克服するためのテレワーク、Web会議、クラウドによる情報共有環境の構築と業務効率向上などのIT技術の活用した中小企業支援にもつながっています。

本年は、GXとDXを通じたポストコロナ社会へ向けた取組みとして、①EA21地域事務局環境未来による新規企業の登録促進活動や②よろず相談による中小企業とスタートアップの伴走支援、③(公財)北九州活性化協議会からの委託による北九州市風力発電人材育成連絡会の業務支援事業と新しいインターンシップコーディネーター事業、④(公財)北九州観光コンベンション協会からの委託による展示会を通じたビジネスマッチング事業を強化します。

当法人の活動は、地域の関係機関・企業様のご支援の上に成り立っています。当法人をご活用いただき、共に成長する地域の技術集団として、本年もご愛顧いただければ幸いです。

最後に、皆様にとりまして最良の年となりますよう祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

Topics 1.

「やまぐちエコ市場の取組み」

(やまぐちエコ市場事務局) 山口県環境生活部

「やまぐちエコ市場」は、企業間の連携強化により、循環型社会の形成や地球温暖化対策の推進に貢献するとともに、自らの企業活動等の活性化、さらには、地域の循環経済の活性化を図るため、民間主体の団体として、平成18年に設立し、今年で16年目を迎えます。

現在は、会員として300以上の企業等が在籍し、山口県内外の製造業者、廃棄物処理業者、銀行、大学、各種団体、県内全19市町及び県の産学官金が参画しています。



エコ市場ロゴマーク

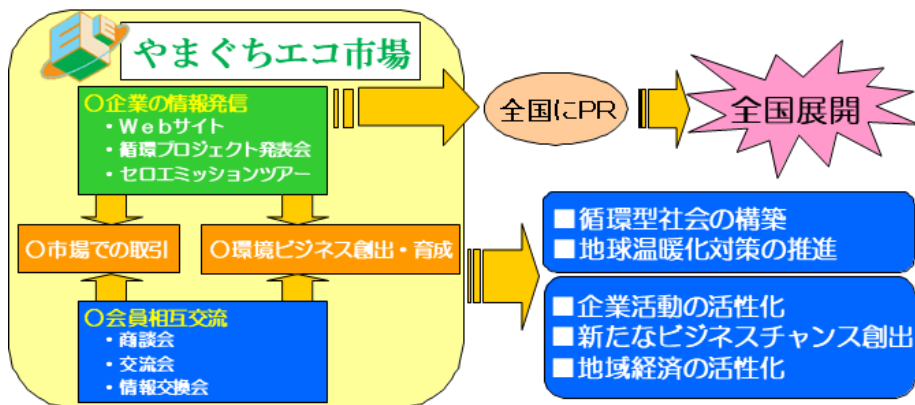
主な活動内容は、「やまぐちエコ市場Web」を活用した、環境関連の製品や情報のリアルタイムでの発信のほか、未利用資源の利活用に関する事業化調査の実施、販路拡大に向けた展示会等への参加などによる、会員企業のビジネスチャンスの創出を図っています。

また、県や市町の参画により、環境関連の助成制度、環境関係法令等の情報の入手が容易になるなど、行政との連携も充実しています。

他にも、「やまぐちエコ市場」では環境マネジメントシステム部会を設置し、エコアクション21の認証取得支援講座の開催や環境関連セミナーの開催等による、会員の環境配慮の取組を支援しています。

この活動において、会員として参画いただいているNPO法人北九州テクノサポート様には、本会員も含めた山口県内企業における、環境マネジメントシステムの構築及び認証・登録にご協力いただいているところです。

我々「やまぐちエコ市場」は、今後とも、会員企業が連携した活動を通じ、循環型社会の形成や地球温暖化対策の推進に貢献できるように取り組んでまいりますので、ご興味をお持ちいただければ、是非、ご参画ください。



市場のしくみ

【やまぐちエコ市場事務局】

山口県環境生活部

廃棄物・リサイクル対策課

〒753-8501

山口県山口市滝町1番1号

TEL: 083-933-2992

FAX: 083-933-2999

E-mail:

ecoichiba@pref.yamaguchi.lg.jp

URL:

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/>

新年の挨拶



2023年(令和5年) 新年の挨拶 北九州市長 北橋 健治

「市制60周年を迎えるに当たって」

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に備えながら、社会経済活動の活性化に取り組みました。

春の大型連休前には、スペースワールド跡地に「ジ アウトレット 北九州」がオープンし、多くの方でにぎわっています。

秋口には、3年ぶりに「TGC 北九州」や「北九州ポップカルチャーフェスティバル」が開催され、市内の方々に、本市の日本一の夜景や食の魅力を堪能していただきました。

昭和38年に、5つの都市の対等合併で誕生した本市は、今年、市制60周年を迎えます。この1年間、「みらい つなぐ 北九州」をキャッチフレーズに、取組を進めてまいります。

まず、文化芸術・スポーツの分野では、2月に、若者層に人気のダンススポーツ「プレイキン」の世界大会が、日本で初めて開催されるほか、10月には、国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州」が、競輪発祥の地である本市からスタートします。さらに、12月には、「北九州

国際映画祭」を開催します。

次に、成長戦略の分野においては、響灘地区で、洋上ウインドファームの建設がいよいよ始まります。「2050年ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、取組を加速させます。

さらに、北九州空港を始めとする陸・海・空の物流拠点化やロボット・DX推進による市内企業の生産性向上なども進めながら、若い世代にも魅力的な仕事を作っていきます。

子育て・教育・福祉の分野では、昨年度設置した「不登校等支援センター」や「ヤングケアラー相談支援窓口」において、お悩みの保護者や子どもに寄り添った支援を行ってまいります。

また、全世代を対象とした地域共生社会の拠点を整備する「希望のまちプロジェクト」への支援などを通じて、誰一人取り残さない持続可能で住みよいまちを目指します。

市制60周年は、人の年齢に例えると還暦に当たります。この節目の年に、本市の自然や文化等の魅力を広く発信しながら、SDGsやカーボンニュートラルに向けた先進的な取組をより一層高め、希望あふれる未来につなげてまいります。

新春放談 北部九州・山口の新年と語る

(順不同)

■北九州商工会議所

会頭 津田 純嗣



あけましておめでとうございます。

本年が北九州テクノサポートの皆様にとりまして、より良き年となりますよう心から願っています。

さて、2022年を振り返りますと、大きな出来事はコロナ禍が終わりを見せなかったことと、ロシアのウクライナ侵攻でした。

北九州商工会議所は、コロナ禍で打撃を受けた地域経済を回復させるため、プレミアム電子商品券「Paycha」(ペイチャ)を昨年の秋以降、紙のプレミアム商品券「DX」(デラックス)と合わせて、過去最大の60億円分を発行しました。おかげさまで大変ご好評をいただき、地域経済の回復に一定の役割を果たせたのではないかと考えています。しかし、日本経済全体を見渡しますと、物価高騰やモノ不足、円安などによって「ひずみ」が生じました。ひずみの最たるものは、コスト高です。

今年は、ひずみを取り除き、30年来続くデフレから脱却する年にする必要があります。換言しますと、今年はピンチをチャンスに変える、好機でもあるのです。このため、私は、困難に直面している事業者の方たちに「適正な値上げをする勇気を持とう」と呼びかけます。北九州の多くの事業者の方々には「パートナーシップ構築宣言」(サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携などに取り組む宣言)をしていただけることを願っています。

事業者の方たちが困難に直面している時こそ、北九州商工会議所の出番です。私たちは今年も、北九州テクノサポートの皆様と手を携えながら、北九州の経済活性化に向けて力強く前進してまいりたいと思っています。

■TOTO株式会社 代表取締役 社長執行役員 清田 徳明



新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年を振り返ると、世界的に新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続したことに加え、国際社会の分断や気候変動による大規模な自然災害の発生、インフレの進行など、想定を超えるさまざまな変化が起こりました。

本年も昨年同様大きな環境変化が矢継ぎ早に起こることが想定されるため、「スピードと対応力」が今まで以上に重要であると感じています。「スピード」をもって行動するために、半歩先一步先のことを「予見」し準備することで、「対応力」をさらに高めていくつもりです。

環境変化にフレキシブルかつスピーディーに対応するために、中・短期の積み上げではなく長期視点で目指すべき姿を明確にした、「新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030」も、今年で3年目を迎えます。

WILL2030で設定した目指すべき姿「きれいで快適・健康な暮らしの実現」「社会・地球環境への貢献」の実現に向け、グループ員一丸となってマテリアリティ「きれいと快適」「環境」「人とのつながり」に取り組んでいくことで、社会のため、お客様のために益々お役に立てる企業であり続けることを目指してまいります。

本年も商品・サービスを通じて豊かで快適な生活文化の創造に挑戦し、世界中にTOTOファンを増やしてまいります。

最後になりますが、北九州テクノサポートの皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年



TAIKO
refractories CO.,LTD.
大光炉枝株式会社

〒804-0054
北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631 FAX: 093-883-2151



総合福祉機器メーカーのリーディングカンパニーとして、
安心と快適を届ける技術で、お客様の生きる喜びを創造します。



本社における頸椎装具等の医療機器適用

義肢・装具／車いす／福祉用具／リハビリ機器

株式会社 有菌製作所
代表取締役 有菌 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL 093-661-1010 FAX 093-661-1670
URL <http://www.arizono.co.jp>

新春随想



2023年(令和5年) 新春随想 公益財団法人北九州産業学術推進機構 理事長 松永 守央

新年あけまして、おめでとうございます。

皆様には、日頃から公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)の事業に対し、ご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、私どもFAISや大学、地元企業などとの研究開発・産学連携拠点である北九州学術研究都市は昨年度、開設20周年を迎えました。

その間、産業構造や経済環境の変化、IT化の急速な進展や環境に対する配慮、自然災害や感染症のまん延など、多くの事象を経験いたしました。ここを拠点としてFAISは、事業におけるさまざまな課題を解決したり、新たな産業を生み出すため、地域の方々の協力を仰ぎながら、その活動に取り組んでまいりました。

とりわけ、この三年間は大変厳しい状況下ではありましたが、この危機を克服するために、多くの企業で、AIやDX、ロボットなどを駆使した

生産性の向上などの新たな取り組みもみられました。

このような取り組みを支援するためにFAISでは昨年、北九州市と連携し「北九州市ロボット・DX推進センター」を開設し、ワンストップでの伴走支援をスタートさせました。

これは、これまでの環境下で学んだことを、未来へつないでいくため、スピード感をもって社会に対峙していくためのひとつの取り組みだと考えています。

これからも、私どもは、地域に集積する大学・研究機関と産業界の橋渡し役として、また中小企業・ベンチャー企業の総合的な支援機関としての覚悟と責任をもって活動してまいります。

関係機関や地元企業の皆様の一層のお力添えをお願いいたします。

最後になりますが、皆様にとりまして、本年がよき年となりますことを心からお祈り申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

新春放談 北部九州・山口の新年と語る

(順不同)

■(公財)北九州活性化協議会 会長 高城 いづみ

新年あけましておめでとうございます。

北九州テクノサポートの皆様には、平素より当協議会の運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この1年は、コロナ禍の収束を期待していましたが、現実としては罹患者数が昨年度を超える環境となり、全国的に社会経済活動は再開されたものの、新型コロナウイルスの影響は大きく、皆様の事業活動においてもスムーズな事業運営が行えず、いろいろな面でご苦労があったかと思えます。しかしながら、当協議会と連携し取り組んでいます「北九州地域産業人材育成フォーラム」の事業におきましては、北九州テクノサポートのコーディネーターの皆様の企業発掘のお力添えをいただき、大学低学年からのインターンシップの取組をしっかりと推進することができました。

特に、インターンシップ事業におきましては、多くの企業でリモートの推進などITを活用した実施傾向が強まる中でも対面での実施を基本とし、数多くの学生の貴重な実践経験の場の確保、提供にご協力いただきました。これも地域の企業様が次世代を担う産業人材育成の重要性を認識いただけているものと感じております。改めて関係者の皆様方には感謝申し上げます。

インターンシップを「課題」という切り口で取り組んだ学生にとっては、自らが考え着眼点を見つけ、課題形成を行い、解決策を生み出すプロセスを体験したことにより、産業人材として自身の能力の飛躍に繋がったのではと強く感じています。そのような人材を地域に貢献する人材としてこの北九州に残し、地域の企業様で活躍してもらわなければなりません。

北九州テクノサポートの皆様の役割はますます大きくなっていくと考えておりますので、当協議会との連携をはじめとして、地域活性化の推進により一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、北九州テクノサポート様の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

■(公財)北九州観光コンベンション協会専務理事 近藤 晃

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

NPO法人北九州テクノサポートの皆様には、平素より当協会の事業運営に格別のご厚情と、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は昨年7月、地域産業・企業の様々な事業課題を解決すべく、「西日本製造技術イノベーション」、「エコテクノ」、「中小企業テクノフェアin九州」を柱とした総合展示会「課題解決EXP02022」を開催いたしました。今回新たに開催した「西日本DX推進フェア」への関心も高く、会期中会場には多くの方々に足を運んでいただきました。本展示会への来場者や出展社の皆様からの評価も高く、新型コロナウイルス感染症により停滞していた経済がいよいよ動き始めたという手応えを感じるものでした。

この波にのり、「ものづくりの街」「SDGs未来都市」として走り続ける北九州を更に盛り上げるべく、本年も7月に「課題解決EXP02023」を開催いたします。会場内では8つの展示会・商談会を同時開催し、各分野の新技术・新サービスを展示やセミナーを通じてご紹介いたします。単独開催では決して得ることのできない相乗効果を生み出すことで、より活発な技術交流や商談の場を創出いたします。

また、本展示会の大きな魅力のひとつであるビジネスマッチングでは、北九州テクノサポートの皆様のご支援が不可欠であり、今後もより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

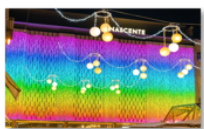
最後に、北九州テクノサポートの益々のご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

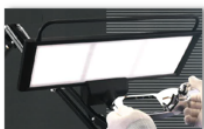
脱炭素！CO2低減
はLED照明



3Dマッピング
LEDイルミネーション



検査照明に最適
有機EL照明



KOSEI JAPAN

限りある資源を未来に 地球環境に貢献！



株式会社コーセイジャパン

〒800-0315 福岡県京都郡苅田町港町8-11
TEL 093-436-6136 FAX 093-436-6141

<https://www.kosei-japan.com>



千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
<http://www.chigusa.co.jp>

新春随想



2023年(令和5年) 新春随想 福岡県 商工部 中小企業技術振興課長 吉海 和正

新年明けましておめでとうございます。

貴法人におかれましては、国内有数のものづくり拠点である北九州地域を中心に、技術開発や産学連携など様々な支援を通じて、本県ものづくり産業の振興に御尽力いただいております。

影山会長をはじめ、会員の皆様の熱心な活動に心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大や原油・原材料の高騰、急激な円安の影響などにより、経済社会や人々の生活様式が大きく変化する中、コロナ禍において生じた需要やポストコロナを見据えた、企業の新たな挑戦が始まっています。

その挑戦を支えるために、県では、今後成長が見込まれる分野・市場への参入に向けて県内ものづくり中小企業等が取り組む新技術・新製品開発を支援してまいります。

また、プラスチックの再利用や金属粉末を用いた新たな製造技術、

紫外線を利用した殺菌機器等の製品開発・活用促進に繋がる機器を工業技術センターに導入するなど、中小企業の技術・製品開発や製造の低コスト化を支援してまいります。

さらに、福岡県中小企業生産性向上支援センターの支援を受けて行う生産ラインの自動化や在庫管理の省人化など、デジタル技術を活用した生産性向上に必要な設備導入等に対する支援を行ってまいります。

皆様におかれましても、これらの施策を是非御活用いただくようお願いいたします。

県としましては、引き続き、技術の高度化や新技術・新製品開発、人材の育成・確保、知的財産戦略などの支援施策を積極的に推進し、多様で活力あるものづくり中小企業の成長発展を図ってまいります。

終わりに、貴法人のさらなる御発展と、会員企業の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念いたします。

新春放談 北部九州・山口の新年と語る

■国立大学法人 九州工業大学 学長 三谷 康範

新年あけましておめでとうございます。



本学では、「未来思考キャンパス」を掲げ、キャンパス内での最先端の「未来環境」の構築に取り組んでおります。昨年は、産学官の交わりの形成拠点として、戸畑キャンパスに「GYMLABO」、飯塚キャンパスに「ポルト棟」という新たな共創空間を設置し、また低炭素化技術のデモや実証ができる「Ee.house」や、超スマート社会の実現やサイバー空間・フィジカル空間の融合を目指すBeyond 5G設備などの学内実証環境を整備するなど、来たるべき2030年代を見据え、教育研究および産学連携の基盤強化をおこなっています。

さらに、産学官の連携・交流を深め地域社会の発展に貢献することを目的に、2020年に創設した「産学官連携推進会」(KyuTechコラボ)の拡大にも取り組み、これまでの技術相談やインターンシップ型アルバイト事業の実施に加え、GYMLABO会員特典の拡充もおこないました。

また昨年は、科学技術振興機構(JST)によるスタートアップ・エコシステム形成支援事業に、本学が九州大学とともに主幹機関として申請した「オール九州スタートアップエコシステムプラットフォーム」(PARKS)が採択され、事業を開始しました。

本プラットフォームには、本学を含む九州・沖縄の15大学と株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズが参画し、「オール九州・沖縄でアジアとつながるスタートアップ・エコシステムの創出」を目指しております。最後になりましたが、北九州テクノサポート会員の皆様には、本年も変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げますとともに、良き年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新春放談 (賛助会員様)

■株式会社千草 代表取締役社長 小嶋 亮

新年あけましておめでとうございます。



コロナウイルス蔓延により社会が大きな影響を受け早3年、今年の新年の挨拶でもその話題をする事になるとは、当初は予想しておりませんでした。

弊社は八幡東区にてホテルを、戸畑区にて結婚式場とレストランを営業しておりますが、売上の中心となる大人数のパーティやウェディングに関しては、未だに参加や開催を躊躇される方が多くいらっしゃいます。業界全体でも厳しい状況が続いておりますが、諸外国を見渡すと日常を回復している社会が大半です。今年こそ、一切の心理的ハードルや制限無く、様々な会合が開催できるムードが醸成される事を、心から期待しております。

とはいえ、企業として他力本願に終止するわけにはいきませんので、いかに人が集まらない時代に生き残っていくかを考え、昨夏、冷凍食品の専門店「シックス・コージー」を開業いたしました。ホテルで長年蓄積してきたレシピや技術を商品開発に存分に活かし、北九州内外のお客さまへと広く販売できるよう、冷凍食品という形式を採用しました。昨今の冷凍技術は素晴らしく、一部の食材を除くと冷凍前後での品質劣化は私の舌では感知できない程です。また、消費期限を長期間設定できる冷凍食品は、SDGsやエコアクションの観点からも時代に即しております。「ホテルの味をご家庭に」をキャッチフレーズに、ネット通販や卸販売を通して、弊社の柱へと育てていくのが今年一年の目標です。千草ホテル一階に店舗を構えていますので、ぜひ会員企業の皆様にもご来店・ご賞味いただければ幸いです。

最後になりますが、北九州テクノサポートの皆様、並びに会員企業の皆様のご健勝と、ますますのご活躍を祈念し、挨拶に代えさせていただきます。

謹賀新年

「元気で住みやすいまちづくり」

KPEC

KITAKYUSHU PROSPERITY ENRICHMENT COUNCIL

北九州活性化協議会

SEARCH

九州最大級の製造現場向け展示会!!

西日本製造技術イノベーション

中小企業テクノフェア in 九州

西日本製造 検索 中小企業テクノ 検索

小倉 西日本総合展示場 駅 5分

北九州観光コンベンション協会

Topics 2 中小企業における課題へのアプローチ“DX活用に向けて”

技術経営ものづくり支援Gr.長 吉田 剛

コンピュータの発展と普及につれ高価なホストコンピュータからPCへと移り変わり、現在はスマートフォンを常時持ち歩き、通信と連動する環境を誰でも使える時代となった。若者は生まれた時からこのような環境で育ち、抵抗感なく自然に扱う時代である。

工場での活用もデバイスの進化で普及が容易になった時代であり、DX化（デジタルトランスフォーメーション）と言った言葉が流行っている。時代変化と共に現場でのデジタルツールの利用も様変わりすると思われるが、過去に工場が高価なコンピュータシステムを導入し悪戦苦闘した時代を経験したものとして記憶をたどり、あるべき姿を述べてみたい。

1990年代はPCの進歩で工場の生産システムとしても使われるようになった。この潮流と北九州の鉄冷えが合流し、新事業を模索する時代となり情報系の事業が各所で始まった。何でもできると期待が膨らむ。しかし、利用技術を知る人は少なく“現場への展開を始めたが、うまく活用できない”と途中で断念するケースも多く見られた。

この時代に機械技術屋から情報系に仕事を変えた私も痛い目にあった。工場の生産システムの開発に足を踏み入れたが、経験不足で途中リタイヤした。代りの人達が作った現場の生産管理システムが3年で使われなくなったが、その表向きの理由は仕事の減少で使用価値が減ったことであったが、わが方は、その後のシステム事業に影を落とした。真の理由は、顧客側としては企業の体力を超えたシステム導入だったことにあった。

それから4半世紀が経過し、当時の1/10いや1/100のコストでより高度なシステム導入できる時代である。利用のハードルが低くなっているが、ツールの導入の視点だけで見るとDX導入効果は限られる。工場の理想の運営はどうあるべきか？理想の工場とはどういうものか？について議論を巡らしその目的達成のためにDXを導入するという原則を踏まえた取組が大事であると思っている。

これらのことを自己の失敗とその後の体験から見出したので、2008年から4年ほど続いた九州大学の社会人講座で教育したが、これからの時代もこの原則は変わらないのではないだろうか。

■エコアクション21地域事務局環境未来の活動状況■

責任者 西 哲郎

- (1) エコアクション21導入セミナー並びに集合コンサルティング・実践講座を開催しました。山口県産業廃棄物協会、やまぐちエコ市場、福岡県（飯塚市、北九州市）、を開催し、新規認証・登録事業者の拡大を図っています。（添付写真参照）
- (2) 認証・登録事業者様を対象に、11月16日「アフターフォローアップセミナー」をリモートZoomにて開催しました、事業者様の活動支援、相互研鑽の成果を挙げるのが目的です。
今回は、「エコアクション21の取組とSDGsの関連性について」・「SDGsの取組活動について」・「低炭素・COP26・SDGsの具体的な施策事例の紹介」の講演を行い主にSDGsの理解を深めるための研修を行いました。



エコアクション21
実践講座

- (3) エコアクション21に長年にわたり熱心に取り組んでこられた全事業者に対し、中央事務局から感謝状が贈呈されました。当地域事務局扱い事業者は21社が贈呈対象となりました。
- (4) 北九州市長感謝状授与制度は11年目を迎え、今年度は「光和精鉱(株)」、(株)北九樹脂、太陽インダストリー(株)」の3社が「環境にやさしい取り組みを行い、成果をあげている事業者」として、北九州市長から感謝状及び記念品が授与されました。
- (5) 認証・登録事業者は全国でおよそ7,450社となり、当地域事務局環境未来では約320社を御世話しています。地球環境保全のためには 中小企業の皆様がエコアクション21の活動に参加され、二酸化炭素等の温室効果ガスの削減他に取り組まれることが今後ますます不可欠となってきています。一社でも多くエコアクション21の認証を取得されますようお願いいたします。



謹 賀 新 年



がっちりガードして、耐風力・防犯力・操作性・耐久力が大幅アップ
中柱固定装置 ザ・ガードマン 新発売!

当社開発／特許取得製品



安全・安心、シャッター設置・修理



有限会社 やまもと

〒805-0050 北九州市八幡東区春の町3丁目1-9
TEL 093-681-6360 FAX 093-681-6818
フリーダイヤル 0120-117-914(市内)
URL <http://www.s-yamamoto.jp>

私たちカンノ製作所の使命は「製品を通じて世の中のを“つなぐ”こと。
場所と場所をつなぐ。装置と装置をつなぐ。人と人をつなぐ。
装置と人をつなぐ。アナログとデジタルをつなぐ。音をつなぐ。
つなぐ技術を駆使して世の中の安心・安全に貢献すること。
私たちは“つなぐ”技術のリーディングカンパニーを目指して、
通信の革新に挑戦し続けます。

INNOVATION TO CONNECT

“つなぐ”を革新する



株式会社 カンノ製作所

http://kanno.co.jp

創業90年

【本社】 〒802-0022 北九州市小倉北区上富野 1-5-25
TEL (093)521-9531 FAX (093)511-6470

【営業所】 東京、首都圏、名古屋、仙台、大阪、金沢、米子、広島、九州



【取扱製品】

鉄道用分岐器、継目板、
トンネル用H形支保工、
九鉄式フックボルト、タイプレート、
鉄道車輛部品、レール溶接工事、
各種照明器具



KYUTEKKI 1921-2020

感謝を忘れず気持ちを新たに

九州鉄道機器製造株式会社

〒800-0028 北九州市門司区下二十町2番30号

<http://www.kyutetsu.com>

SC 有限会社 ICS SAKABE



プロフェッショナルを目指す若手エンジニアを応援しています!



〒802-0061
福岡県北九州市小倉北区三郎丸1-12-17
TEL : 093-932-7480 FAX : 093-932-7481
Email : info@icssakabe.com
URL : <http://www.icssakabe.com>

Topics 3. インターンシップの新しい就活ルール具体化の動き

産学連携人材育成支援グループ長 影山 隆雄

我が国のインターンシップは、1997年ごろから政府の後押しのもとキャリア教育の一環という位置付けで拡大してきました。企業にとっては学生との接点を広げる好機となるため、半日や1日のプログラムが急増し、超短期という日本特有の形で発展してきました。しかし、最近の各種調査では、問題点が浮き彫りになっています。その一つは、就活学生の7～8割がインターンシップを経験していますが、超短期のプログラム利用が6割で、会社説明に終始するような内容に不満を漏らす学生が多く、日数が長いほど学生の満足度が高くなっています。二つ目は、外資系企業では、1ヶ月以上、社員と同じような業務に就いて、そのまま採用されるケースのようにインターンシップが採用活動と直結しており、日本企業や大学の「インターンシップは採用活動ではない」という考えのままでは、「就活ルールを気にしない外資に『採り負け』、企業の競争力の回復もおぼつかない」という日本企業の不満の声が多くなっています。

この問題解決に向けた動きとして、昨年4月に経団連と国公私立大学などでつくる産学協議会が報告書をまとめたのを受けて、政府はインターンシップでの学生の評価を企業が採用選考で利用できるよう2022年度中の新ルール具体化を目指しています。

5日間以上などと期間を定め、そのうち半分以上は職場の就業体験にあてる内容を対象にする方向で、2024年度以降に卒業・修了する大学生と大学院生に適用することを想定しています。

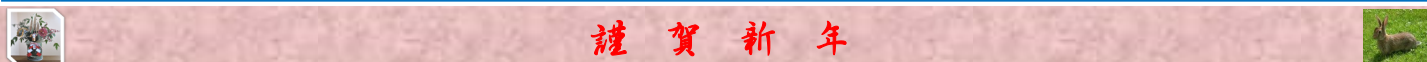
産学協議会が提起したインターンシップの基準は表に示す通りです。

産学協議会が提起したインターンシップ基準

- ・必ず就業体験をする。期間の半分超は職場体験に
- ・社員が学生を指導し、学生にフィードバックを
- ・期間は一般的に5日以上、専門的な場合は2週間以上
- ・学業と両立させるため夏休みなど長期休暇を利用
- ・実施時期や就業体験の内容など募集要項に記載

北九州地域産業人材育成フォーラムで取り組んでいる地域連携型インターンシップは、従来から5日間以上で実施しており、受入企業の皆様には、政府が決める新ルールの適用について特に対応していただく必要はなく、学生の評価を採用選考で利用できることになります。

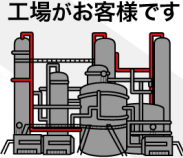
出典：日本経済新聞 2022年4月19日朝刊および同年5月30日夕刊





株式会社 新大倉
Engineering, Procurement and Construction

工場がお客様です



その工場の

Engineering
設計

Procurement
調達

Construction
工事

が仕事です



北九州から全国へ
気象とものづくりで
企業の安全を支える

◎気象の総合コンサルティング
◎気象海象予測・予測情報提供
◎気象観測機器レンタル

気象庁予報業務許可第51号

システム株式会社
System & Meteorology

〒802-0979
北九州市小倉南区徳力新町2-8-11

TEL 093-965-1033
FAX 093-965-1055

国土交通省 NETIS登録商品





独自の技術力で豊かな未来を創造します。

株式会社 測研

【総合気象観測】 【波浪調査：海底設置型波浪計】 【自社開発：潮位観測システム】





気象・海洋・河川調査解析／港湾・漁港・海岸のアセットマネジメント

北九州市戸畑区境川2丁目4番5号 TEL:093-883-1511
http://www.sokken.com

ガラスレンズ金型（超硬合金製）



次世代移動通信技術
『5G』に使用される
レンズを製造するには弊
社の『超精密加工技術』
が必要です。1/1000mm以下

夢のあるものづくり
株式会社 ワークス
WORKS Co., Ltd.

〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町虫生津 1445-1
TEL: 093-291-1778 FAX: 093-291-2728



Matsushima Measure Tech

「現場の見える化」を実現する





株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837
北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL:093-691-3731 FAX:093-691-3735

マツシマメジャテック

お問い合わせは
こちら



ステンレス・アルミニウム・チタン

金属研磨で“価値”を与える会社



東洋ステンレス研磨工業株式会社
TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO., LTD.

〒818-0131 福岡県太宰府市水城6丁目31-1
TEL: 092-928-3733(代) FAX: 092-928-5430(代)
e-mail: info@toyo-kenma.co.jp
HP: https://www.toyo-kenma.co.jp/

NPO法人北九州テクノサポートのグループ活動紹介

◆ 技術経営ものづくり支援グループ ◆ (24名)

- (1)補助金申請書作成の支援：ものづくり補助金に採択されたS社が実行中の開発をフォロー中。他の案件は、再チャレンジで採択された。また、北九州市の技術開発振興助成金についてはE社が申請を希望され、申請書の内容についてアドバイスをを行い、結果的に採択され開発進行中。
- (2)よろず相談案件：B社の新型“身体の不自由な方のトイレ”開発の支援を進めている。独立して移動可能なトイレで汚物を臭いが出ないようにバックシールできる機能を持つ、世の中になく製品である。現在、3世代目の試作開発に取組み実用化を目指している。本件は当グループのメンバーが開発の補助金取得を始め全面的に支援している。その活動を支え、実用化を目指すべくグループ内の補助金獲得経験者や類似の開発経験者を応援団として加えて支援を開始したところである。

◆ 産学官連携人材育成支援グループ ◆ (15名)

- (1)地域連携インターンシップの支援：北九州地域産業人材育成フォーラムからの委託によりインターンシップの受入企業の開拓と理系大学・高専との調整に15名の会員がコーディネーター役を務めている。今年度もコロナ禍のため、研修型(短期)は登録企業が63社、受入決定企業29社、参加学生45名となり、実践型(長期)では登録企業12社で受入決定企業5社、参加学生5名となった。
- (2)北九州市風力発電人材育成連絡会業務支援：(公財)北九州活性化協議会からの委託により北九州市内に拠点を有する風力発電関連企業3社と北九州市内の大学・高専・工業高校の7校との関係強化を図るコーディネーター業務を会員3名で担当している。

◆ 環境・省エネ支援グループ ◆ (15名)

- (1)農業分野の活性化(竹粉の地元農家への普及)：合馬竹林地元のF社が竹粉製造装置を設置し、同社より入手したサンプル品を若松や中間のハウス栽培農家で試験使用して頂いており、会員自宅でバラの土に混ぜると元気が出て病害に強くなることも確認した。
- (2)エコ関連支援活動：①省エネルギーセンターの調査員の活動依頼が3件あり、工場2か所の他、美容室を訪問調査した。②北九州市が認定する“エコプレミアム商品”の審査が行われ、応募時に支援した2社(エアテック、ピュアエナジー)の商品がエコプレミアムに選定された。
- (3)EA21と連携した企業支援の取組：EA21との連携は今期の進展がなく、次期以降に持ち越しとなった。

◆ ISO・EA21支援グループ ◆ (22名)

- (1)EA21認証取得事業者の課題・ニーズの引き出し及び課題解決：主として技術経営ものづくり支援グループ(Gr.)との協働を進めている。
- (2)EA21認証取得事業者を拡大：地域事務局とタイアップしてセミナー講師等を動めて啓蒙を図っているが、全体として登録事業者数は減少傾向のため、巻き返しに有効な取組み策について検討中である。
- (3)ISO認証維持・新規取得支援の取組み：Gr.員による属人化支援をGr.管理型の取組みとしてGr.成果に結び付けていきたい。
- (4)Gr.員の相互研鑽：EA21資格取得勉強会を進めている。又、省エネ診断士、その他の技術取得のため、オンライン定期研修による勉強会を企画中である。
- (5)KTS通信Vol.39瓦版：エコアクション21たより第17号を発行した。

◆ 販路開拓ビジネス支援グループ ◆ (18名)

- (1)課題解決 EXP0 2022 のビジネスマッチング(BM)支援：2022年7月6日(水)から8日(金)の3日間の開催でBM支援対象の出展企業は、中小企業テクノフェア78社、製造技術イノベーション34社、そしてDX推進フェア38社と合計150社になりこれまでに大きく増大したこと、IT関連企業がその半数を占めたことから、コーディネーターの増員とDX対応のためIT技術の研修を実施した。担当地元企業数323社に対して橋渡し・組合せによる516件のBM支援を実施した結果、商談可能件数37件、商談見込金額1,680万円の成果を得た。
- (2)北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援：約30名の会員を登録し、北九州商工会議所の会員企業に対して各種補助金の申請、技術指導、EA21登録等の支援を行っている。

◆ IT活用支援グループ ◆ (9名)

- (1)EA21事務局業務効率化支援システムの開発：従来のEA21新規登録/更新の受付簿管理システムの操作改善及び業務効率化を目的に、当該システムの更新を実施した。
- (2)Python導入の検討：中小企業の多くが管理業務にマクロ関数やVBAを用いた種々のExcelプログラムを活用しているが、業務の自動化には限界がある。為、拡張性の高いPythonによるプログラムへの切り替える支援を推進中。
- (3)ホームページ(HP)更新：定例作業として、2021年度貸借対照表をHPに追加した。今回は、過去の貸借対照表を年度別に分離し、各年次をクリックすることで、年度別貸借対照表閲覧を可能とし、閲覧利便性を向上させた。
- (4)第4次産業革命勉強会：活動内容は、第4次産業革命勉強会のご案内をご覧ください。



POINT 01 安全・迅速 3D同時計測

トンネル点検車両



POINT 03 高精度

POINT 02 北九州オンリーワン企業
Only one Kitakyushu only one company 2011

ドローンによる目視検査(空撮)

30倍ズームカメラ
及び赤外線サーモカメラ搭載



POINT 04 直観的!!



計測検査株式会社
北九州市八幡西区陣原 1-8-3
TEL: 093-642-8231

環境づくりに心をこめて

株式会社 守恒造園建設

◆地域密着の循環システムの推進

◆社会貢献



<事業品目>
造園工事・環境事業・きのこファーム

(本社) 北九州市小倉南区志井鷹羽台4番3号
TEL 093-962-4211 FAX 093-962-4272 URL <http://www.morizou.info/>

ベストプランを
ご提案します!

選別機械 / コンテナ製作
搬送設備 / リサイクル設備
コンベアカバー

設計・施工・修理・メンテ

三栄機工株式会社
福岡県知事許可(般-21)第99106
<http://www.sanei-kikou.com/>



一般小荷物搬送設備

福岡県京都郡苅田町若久町3-22-5 TEL 093-434-2737

プロライト株式会社
PROLIGHT



明るいのになぶしくない

省エネ 消費電力は水銀灯の1/3
長寿命 寿命はLEDの約1.5倍

水銀灯に代わる次世代照明

無電極ランプ **エコ太郎**

■無電極ランプ「エコ太郎」製造
■高天井・検品・検査照明
■スポーツ・体育館照明

MADE in JAPAN

ECOTARO

大光炉材株式会社

令和4年11月21日に同社本社をお訪ねし、同年5月に代表取締役社長にご就任の小林聡子様並びに奥野専務取締役に林理事がお話しをお伺いしました。

■会社の沿革と業況

当社は、1954年(昭和29年)4月、主に鉄鋼産業において使用する不定形耐火物メーカーとして創業しました。以来約70年、高度経済成長の波にも乗り、不定形耐火物の開発及び製造を生業として成長してきました。大手鉄鋼メーカー系列の競業会社が多い耐火物業界の中で、完全な独立資本を貫いていますので、製品性能で後塵を拝すると、市場撤退を余儀なくされる厳しい立場にいます。そのため、材料の研究開発・リードタイムの短い製造体制の構築に力を入

れており、お客様の困っていることを迅速に解決することに注力してきました。全社員の74%が技術開発、生産、エンジニアリング部門に属しており、そのうち24%が不定形耐火物の研究・開発スタッフで占めています。

■今後の展開

主要顧客である鉄鋼産業は、カーボンニュートラルに向けた、生産プロセスの低CO₂化に取り組んでいます。その為、生産設備の統廃合が行われ、弊社の主力製品である耐火物を使用する高炉も年々、基数が減少してきてしま



耐火物製造

してきています。不定形耐火物を使用する設備が減少していく中で、いかに環境に適合し、使いやすく、安定した耐用的耐火物を開発・提供できるかが重要であり、これは今も、昔も変わっていない自社に与えられた命題であると考えています。創業100周年を目指し、BCP対策を含めた生産体制の見直しを図っており、

北九州市内に環境に配慮した新工場の建設を行う予定です。

■KTSへの期待

様々な、ご支援を頂きありがとうございます。貴法人の様々なネットワークを活用した最新の情報を提供いただけると幸いです。引き続き、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

◇ 大光炉材株式会社

■所在地: 北九州市戸畑区牧山新町1-1 ■TEL: 093-871-1631
■代表者: 代表取締役社長 小林 聡子 ■創立: 昭和29(1954)年4月
■資本金: 5,000万円 ■従業員数: 280名
■事業: 1. 不定形耐火物 2. 工業炉の設計・製作 3. ファインセラミックス
URL <https://www.taiko-ref.com/>

プロライト株式会社

令和4年12月にご入会の同社本社をお訪ねし、宮本代表取締役、天神専務並びに湊マネージャーに荒巻・林理事がお話しをお伺いしました。

■会社の沿革と業況

当社は、2012年に日本製無電極ランプ「エコ太郎」の開発・製造を行うベンチャー企業として創業し、ちょうど10年目をむかえたところです。創業当時は苅田新浜町に事務所、行橋市延永に工場を構えてスタートし、2014年6月に、増産・業務効率化の為、現在の苅田町に移転致しました。2015年からオリジナルの電源(インバーター)を搭載したPJシリーズの販売を開始し、販路を全国に展開していきました。物流業界出身の代表の人脈から、倉庫・運送業を中心にシェアを伸ばしていきました。当時の市況はLEDが本格的に普及し始めた頃で、照明の一つの選択肢の

ひとつとして、無電極照明が新たに脚光を浴びてきていました。『明るい・まぶしくない・省電力』の特徴が口コミで広がり、製造業、自動車整備工場等にも波及していきました。同時に海外メーカーの低品質な製品も市場に流入し、一部で不具合が出る等して、『無電極照明』市場価値を下げる要因もあり、悩みどころでもありました。

これまで2020年に水銀灯の製造・輸出入禁止の背景を追い風に、出荷台数を伸ばしていましたが、2020年のコロナ禍によって状況が一変し、人流のストップ・企業の設備投資抑制により、出荷台数も前年割れとなりました。

今後はLEDを使用する環境と明確な差別化をしていくことで、無電極照明のブランド確立に向けて一層、精進をしていきます。

■今後の展開

新しい業界での展望が見えてきました。
・スポーツ施設・体育館照明: 自治体の体育館・民間のテニスコート・プール等で過去に交換したLED照明がスポーツ特有の上を見上げる動作など、でまぶしさを感じるといった、現場の声がよく聞かれるようになりました。その対策として無電極照明の検討が増えてきております。

・検品・検査: 無電極照明特有の演色性(色が正しく再現)や指向性の無い照射ができることから、製品の検品検査に用いられるケースが増えてきました。AIカメラとのマッチングも良くその用途が広がってきています。

・OEM製品: 街路灯や災害用照明等、お客様のニーズによりオリジナルの製品化も開始しております。照明のことならなんでも、ご相談ください。

■KTSへの期待

電気知識をもつ新たな人材の登用、また海外の販路開拓などでお力添えを期待しております。

◇ プロライト株式会社

■所在地: 福岡県京都郡苅田町苅田3787-28 ■TEL: 093-435-5130
■代表者: 代表取締役 宮本 国隆 ■創立: 平成24(2012)年9月
■資本金: 1,000万円 ■従業員数: 10名
■事業: 省エネ照明 無電極放電ランプ「エコ太郎」の開発・製造・販売
販売元: ラックライド株式会社
URL <http://www.prolight.co.jp>

会員動静 (2023年1月10日現在)

正会員	賛助会員
70名	法人: 13 個人: 0

理事会組織

会長 影山 隆雄
副会長 吉田 剛、古谷 長蔵
事務局 徳永 昌哉
理事 関屋 建三、手島 邦彦、西 哲郎、林 慶三郎
正木 秀尚、松本 昭喜、渡邊 朝子
監事 小林 敏郎、藤原 利久 (理事・監事50音順)

活動グループ

・技術経営ものづくり支援Gr.
・産学官連携人材育成支援Gr.
・環境・省エネ支援Gr.
・ISO・EA21支援Gr.
・IT活用支援Gr.
・販路開拓ビジネス支援Gr.
・広報・デザイン支援Gr.

★KTS情報交換会★ 9月28日オンライン開催(参加10名)し、新入会者3名(木通、蔵元、津島氏)のキャリア自己紹介、KTS活動への期待などを伺い、活発なやりとりがありました。次に各支援グループ活動状況・参加者募集として4グループ(技術経営ものづくり、環境・省エネ、産学官連携人材育成、販路開拓ビジネス、IT活用、広報・デザイン)が紹介を行いました。その後、会員発信として参加された会員の自己PR・近況等を伺いました。次回はより多くの方々に参加を呼びかけます。

★第4次産業革命勉強会★ この勉強会は、会員の学び直しの場としてスタートし今年で8年目を迎えます。昨年2月には、(公財)北九州国際技術協力協会(KITA)の要請によりアジア諸国向けセミナーの講演資料として、勉強会の資料を再編集し「第4次産業革命の日本へのインパクト」をまとめましたが、今年2月は、アジアに中南米、アフリカ、東欧を加えた12ヶ国向けにDXとGXが融合する動きや国内のアナログ規制見直し、自治体システム統一の動向を含めて改版を進めています。

検索 北九州テクノサポート

<http://www.npo-kts.org/>

正会員・賛助会員の申し込み受け付け中

ホームページから申込用紙をダウンロードできます。



NPO法人 北九州テクノサポート

広報誌「北九州テクノサポート通信Vol.40」

令和5年(2023年)1月10日発行

編集・発行: NPO法人北九州テクノサポート(広報・デザイン支援Gr.)

北九州市戸畑区中原新町2-1 北九州テクノセンタービル 806号

TEL/FAX: 093-873-1453 E-mail: info@npo-kts.org